第2期堺市子ども・子育て支援事業計画　令和4年度　新規・追加事業報告書

資料3-2

No.	施策の柱	施策領域	子どもの貧困対策	支援の類型	事業名	所管(局)	所管(課)	事業概要	現状(事業量)	R4年度　予定事業量	令和4年度　予算額(千円)	令和6年度目標事業量
記載例	1	1-1	—	—	●●	子ども青少年局	子ども企画課	▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲	◆◆件	継続して実施し、事業の更なる充実を図ります。	××	継続して実施し、事業の更なる充実を図ります。
1	3	3-3	3-2	就労の支援	ひとり親家庭応援フードパントリー事業	子ども青少年局	子ども家庭課	経済的自立に向けて取り組んでいるひとり親家庭を応援するため、フードロス削減に取組むスーパーやフードバンク団体から寄附された食料品等を、月1回程度、対象のひとり親家庭にお渡ししています。また、相談窓口などを書いたメッセージカードも渡し、支援に関する情報提供を行っています。 対象は、ひとり親家庭のうち、これまで児童扶養手当を満額を受け取っていたが、前年所得の増加などにより一部減額や全額停止になった方、及び、これまで一部減額で受け取っていたが全額停止になった方などです。	のべ347人(令和4年6月末時点)	のべ1,320人/年	858	のべ1,320人/年
2	3	3-3	1-7 3-2	教育の支援 就労の支援	ひとり親家庭 親と子のチャレンジ支援事業	子ども青少年局	子ども家庭課	ひとり親家庭の経済的自立を支援することを目的に、保護者向けの自立支援(ファイナンシャルプランナー及び民間支援団体によるセミナー)と、子ども向けの学習支援(1回90分、家庭教師を12回派遣)をセットで実施しています。 対象は、児童扶養手当全部支給世帯のうち、中学生の子どもがいる世帯です。	42世帯(令和4年7月時点)	事業を利用した保護者・子どものうち意識や行動の変容があった割合 ・保護者:86% ・子ども:70%	7,268	事業を利用した保護者・子どものうち意識や行動の変容があった割合 ・保護者:90% ・子ども:80%
3	3	3-3	3-2	就労の支援	SNSやAIを活用したシングルマザー等就業支援事業	子ども青少年局	子ども家庭課	就業中のシングルマザーも時間や場所の制限なく、スマートフォンで気軽に求職活動ができるよう、SNS(LINE)を活用し、キャリアコンサルタントによる就業相談から、適性診断、求人マッチング、職業紹介、定着支援までを一貫して支援します。	12月頃から実施予定	利用登録者数500人	19,615	就職者数100人
4	3	3-3	3-2	就労の支援	ひとり親家庭交流会事業	子ども青少年局	子ども家庭課	仕事やキャリア・お金・資格について、悩みを共有し、未来を考えるためのひとり親交流会を実施します。自立や就職・転職、収入増について、参加者の気持ちや意識を変容できるよう、ひとり親当事者の方がゲストスピーカーになり、テーマに沿った実体験を話してもらいます。 実施に関しては、一般社団法人に委託して実施します。	令和4年9月以降に4回開催予定	交流会参加者のうち、気持ちや意識の変容があった人の割合:100%	297	交流会参加者のうち、気持ちや意識の変容があった人の割合:100%
5	4	4-1	—	—	美原区子育てキラキラプロジェクト事業	美原区役所	子育て支援課	Ⅰ、保護者が安心して地域で子育てに取り組める環境づくりを目指し、親子が集う場を定期的に提供し、育児仲間の獲得と育児不安の軽減を目指す。 Ⅱ、既存の子育て講座やイベント等に参加していない子育て家庭が興味を持つような、保護者の趣味に焦点を当てたClub活動を実施することで、子育て家庭の交流と子育て支援情報のPRを行い、孤立化予防及び虐待の未然防止と早期発見に繋げる。 Ⅲ、美原区在住の子育て家庭が必要とする情報を集約し地図と共に示した「子育て応援MAP」を作成することで、子育て関連施設や社会資源の利用を促す。また、子育て中の保護者と共に美原区内の親子でお出かけできる場の情報を記載した「(仮)親子でお出かけMAP」を作成する。	21回	32回	485	継続して実施し、適宜見直しを図りつつ、事業の更なる充実を図ります。